

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026.1.13(火)

事業コード	25-G-08	学校名	恵那市立恵那北・飯地小学校		住 所	恵那市長島町久須見177番地1
実施日	10月22日(水)9:35~11:50			受講児童生徒数	37名(4~6年生)	
開講職種数	3職種	指導者数	6名	参観保護者数	14名	

学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

・今、好きなこと、得意なことを伸ばし、将来の仕事に活かせるのであれば、そんな素敵なことはありませんが、寝具、畳、左官という普段なじみの少ない職業に新たに触れられたことは今回、大変価値のあるものでした。興味・関心がなくても地元で活躍されているマイスターの人柄に触れたり、ものづくりを体験したりすることを通して、そのおもしろさや価値に気付くことができ、子どもたちにとって新しい発見があったと思います。お忙しい中、マイスターの方々が材料を準備し、丁寧に教えてくださったことにも頭が下がります。

小学生のうちにこのような体験を重視したキャリア教育を進めていくことの大切さを改めて実感しました。3年間、貴重な体験をさせていただけたことに感謝申し上げます。(恵那北小学校)

・キャリア教育に限らず、子どもたちを「本物」に触れさせることの価値は大きいと考えています。実際に働く方から対面で話を聞き、実演していただき、さらに自分でも体験することで、子どもたちに技能者の技の凄さだけでなく、その方の生き方が伝わります。昨今、将来に夢がもてない子どもが増えていました。それは、憧れることのできる大人が身边に少ないことが原因の一つではないかと思います。今回参加させていただいた体験授業は、子どもたちに憧れの存在を増やし、将来の夢につながるチャンスを与える大変有効なものでした。ぜひ、今後も続けていただき、多くの学校が参加できることを期待します。(飯地小学校)

会場担当教員アンケートの結果（3会場の先生）

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →
③あまり伝わらなかった →

②ある程度伝わった →
④全く伝わらなかった →

2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

・まだ将来の夢や就きたい職業がしっかりとしていない小学生でも、体験させることでその仕事の魅力を感じることができると思う。今回の体験授業は貴重だと感じる。(寝具製作会場)

・左官体験授業は、児童が実際に職人の仕事に触れることで、働くことの意味ややりがいを実感できる貴重な機会となりました。手を動かしながら技能の大切さを学び、ものづくりへの関心や尊敬の念を育むことができました。また、努力や工夫が形になる喜びを味わうことで、将来の職業観を広げるきっかけにもなりました。(左官会場)

・児童の感想にありましたように、本物の持つ力、職人の心意気に触れ、今後の職業選択への幅が広がっていくことを感じました。

・一朝一夕では習得できない職人の技、更にそれを極めたマイスターの方より、直接学べる機会がいかに貴重であるか。学習指導要領では、学びと生活のつながり、学んだことをいかに活用できるかが大切と述べられています。難しいですが、夏休みなどにこうした機会を設けていただき、更に個人でも参加できるとありがたいです。(畳製作会場)

指導者アンケートの結果（3職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

3

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・我々、寝具業界は職人の高齢化と後継者不足が深刻な状況であり、またインターネットなど大手メーカーによる量販や価格に転嫁した通販などの影響もあって”廃業”を余儀なくされる小売店も少なくありません。その一方で、職人が手掛けた『本物の布団』を求める顧客は全国にいます。唯一無二、一人一人の要望に沿った付加価値の高い布団を仕立てることのできる職人の存在を世の中にもっと発信していく必要があります。

この体験授業を通して『ものづくり』という職業の”魅力”と”可能性”を多くの子どもたちに伝えられることは非常に尊く、私自身とても嬉しく思います。

私は、ある人との出会いが”キッカケ”でこの世界に入りました。しかも、その出会いは突然に訪れました。どうか、これからもこの様なキャリア教育を実施することで、子どもたちが”夢を抱く”ことのできるキッカケづくりを岐阜県主導で積極的に推進していただきたいです。（寝具製作職種）

・児童が壁塗りに夢中になってくれていることを感じました。コースター作りもまた壁塗りとは違った笑いがあって良かったと思います。壁はもちろんですが、床に塗る（モルタル・セメント系）ことなども出来たらいいのかなと思いました。（左官職種）

・1番の問題は畳製作という仕事があることを、子どもたちに知られていないこと。知らない職業は選択肢にも上がってきません。通常であれば私たち「職人」は多くの子どもと接する機会も少なく、この問題を解決することは簡単ではありません。そのため、この事業は子どもたちに私たちの職業をアピールできる貴重な場です。是非今後も長く続いていってほしいと思います。（畳製作職種）

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	寝具製作	左官	畳製作		合計(左:人 右:%)
指導者数	1	3	2		6
受講児童生徒数	12	9	16		37
回答	とても満足した	11	8	14	33 89.2
	ある程度満足した	1	1	2	4 10.8
	あまり満足できなかった	0	0	0	0 0
	満足できなかった	0	0	0	0 0
	合 計	12	9	16	37 100

寝具製作会場の様子



先生の感想

【職業講話】

・児童たちは、吉田さんの話を聞き、自分が得意なことを続けることや、やってみたいことにチャレンジすることが、自信となって夢を叶えることにつながるということを、「自分事」として考えることができたと思う。

【製作実演・体験活動】

・簡単そうに実演される作業だが、実際にやってみるととても難しいことを実感できた。目の前で、吉田さんの技術を見せていただくことができ、長年努力を重ねて技能を習得されたことがよく分かった。一人一人の様子をよく見てくださり、できなくても優しく声をかけ助けていただいた。体験活動を通して、夢に向かって努力することの大切さが伝わったと感じた。

・希望者に4年が多く、家庭科を学習していないため、裁縫道具を使用する寝具製作は難しいと感じた。

児童生徒の感想

- ・細かくちぎった綿がたくさん入っている座布団が良い座布団だと思っていたけど、まったく違うことが分かったし、綿の種類が百種類以上もあることにもびっくりした。
- ・手で綿を切ったことが印象に残った。吉田さんは手つきがパッパッと素早くすごかった。
- ・敷布団作りでは、1枚作るのに綿が多目的室の半分くらいの量を使うと聞いて驚いた。
- ・ミニ座布団作り体験では、角作りの作業が私にとって一番難しかった。
- ・あまりこの職業について知らなかったけど、実際にミニ座布団を作ったことによって、結構知ることができ勉強になった。
- ・分かりやすかったし、すごく上手にできた。先生のサポートが多くてやりやすかった。しかも、作り方が本格的だったので、座り心地が良く、素晴らしい体験だった。
- ・寝具製作を体験して、座布団や布団がすごく工夫されて作られていることが分かったし、とても時間をかけて作っていることが分かった。吉田さんの「甘い考えでは何も達成できない。」という言葉が印象に残った。
- ・ミニ座布団作りで、途中に綿が大きくなってしまった時があったけど、先生が少し直してくれてとても上手につくることができた。

左官会場の様子



先生の感想

- ・こてを使って壁を塗る体験は難しかったが、職人の技のすごさを実感できた。集中して取り組む楽しさを感じた。
- ・丁寧に塗ることの大切さを学び、ものづくりへの興味が高まった。努力の積み重ねで美しい仕上がりになることを知った。
- ・職人さんの講話から、仕事への誇りや責任感を感じた。自分の仕事に誇りをもつ姿勢を、子どもたちにも伝えたいと思った。
- ・実際に体を動かして学ぶことで、ものづくりの楽しさや大変さを実感できた。体験を通して学ぶ授業のよさを再確認した。
- ・左官の歴史や語源を知り、伝統技術の継承の大切さを感じた。地域の職人を招いた体験学習の価値を改めて実感した。

児童生徒の感想

- ・左官を体験して、思ったより大変でコツがいることが分かった。端の部分を塗るのが難しく、塗り方を教えてもらわなかつたら多分端の部分は塗れていなかつたと思う。楽しかった。
- ・左官のプレゼンを聞いて、左官が壁を塗る仕事で、色々な建物で仕事をされていることが分かった。
- ・左官の仕事は、色々な建物づくりなどに応用されていることを知り、生活の中でとても役立っていることを知つた。
- ・左官の壁塗り体験で、コテに対してコテ板が垂直にならないとうまく持ち上げることができないことが、実際にやってみてよく分かつた。
- ・立壁塗り体験では、角の部分を塗るのが難しくて大変だったけど、楽しく出来た。また、多少でこぼこしているところもあったけど、大体は平らにできたので良かった。
- ・壁塗りをもっとたくさんやってみたかった。きれいに薄く塗るのが難しかつた。
- ・途中からどんどん楽しくなってきたけど、もっと時間が欲しかつた。
- ・左官は学歴などが関係ないので、将来の仕事の中に左官も考えてみたい。

畳製作会場の様子



先生の感想

- ・事前に来校され、計画段階から丁寧に説明いただけたことで、当日、担当教員が司会をスムーズに行うことができた。
- ・作業工程を段階的に進めていただき、昨年度よりも時間を有効に使い、子ども達は作業に集中できた。
- ・材料が豊富に準備されており、自己選択できることで、「自分だけのもの」という意識が、意欲的な姿につながっていた。
- ・保護者の参加希望調査をする段階で、費用についても確認ができ、集金も円滑に行うことができた。

児童生徒の感想

- ・畳の部屋で勉強したら成績向上、集中力持続効果、リラックス効果があることを学んだ。(大学の実験などで証明されている。)
- ・い草を刈る人がい草を織ると聞いてびっくりした。とても大変そうだった。写真を見ると大量の畳表があつてすごいなと思った。
- ・畳を作ってみて、畳にも色々な種類があって驚いた。畳製作では、大体の作業を1人だけでやっていることがすごいと思った。
- ・畳はどのように作られているのかを知り、畳は泥のにおいがするということを知った。
- ・三宅さんや田中さんの話を聞いて、苦労もあるけど、好きなことを職業としてやれることを知った。
- ・どの職業でも努力をしないとできないことを知り、また1日に畳を20枚も1人で作っていると話されていてすごいと思った。
- ・ミニ畳作りでは、ひなまつりの雛段にも使えるように色を工夫した。思ったより上手にできていた、やりきったと思った。
- ・畳のヘリを縫ってみて、保護具を手のひらに付ければ痛くないことが分かった。